

企業実務家が理解しておくべき 法律実務用語の使い分け

～社内外の文書で誤りやすい実務用語の確認～

講師 ^{たかはし}高橋 ^{ひとし}均氏 獨協大学法学部教授
(元・新日本製鐵(株)部長)

日時 平成29年4月25日(火) 午後1時00分～午後4時00分

企業実務において日常的に意識せずに使用している用語の中には、法律上の意味として区別すべきものが少なくありません。これらの法律実務用語を正確に理解することは、相手との交渉、業務に関する法令の理解の際などに重要なことです。

そこで、特に誤解しやすい類似の用語を取り出して、その意味や使用方法の違いを正確に理解するために、法務・総務や監査等のコーポレート部門の方のみならず、営業・購買担当等の方まで対象に、長年、企業実務に携わった講師から、現場の実務経験を踏まえて、法律実務用語に特化して具体例を示しつつ解説致します。

1. 法律実務用語の理解の必要性

- (1) 法律実務用語の重要性
- (2) 法務部員以外が法律用語を正確に理解する意義

2. 用語の法的理解の困難性

- (1) 契約書等における法律用語の役割
- (2) 具体的契約書事例に見る誤認（何が誤使用か区別がつかますか？）

3. 類似の用語の使い分け

(1) 位置関係等に関する用語の使い分け

- ① 期間・期限・期日・時期
- ② 速やかに・直ちに・遅滞なく
- ③ 経由して・通じて
- ④ 又は・若しくは、並びに・及び

(2) 概念を表す用語の使い分け

- ① 悪意・故意・作為
- ② 違法・脱法・不当
- ③ 過誤・瑕疵・欠格
- ④ 過失相殺・損益相殺
- ⑤ 義務・債務・責任
- ⑥ 権限・権利・職権
- ⑦ みなす・推定する
- ⑧ 解除条件・停止条件
- ⑨ 信託利益・履行利益
- ⑩ 保証・根保証
- ⑪ 連帯債務・連帯保証

(3) 行為に関する用語の使い分け

- ① 犯す・侵す
- ② 委託・委任・請負
- ③ 更改・更新
- ④ 解除・解約・取消・撤回
- ⑤ 許可・認可
- ⑥ 公告・公示・公表・告示
- ⑦ 受理・受領
- ⑧ 所有・保有・保管
- ⑨ 合意・同意
- ⑩ 明渡し・受渡し・引渡し
- ⑪ 遡及・遡求
- ⑫ 保証・保障
- ⑬ 保留・留保

(4) 文書・規程に関する用語の使い分け

- ① 印鑑・印章
- ② 記名・署名
- ③ 契約・協定・約定
- ④ 原本・抄本・謄本
- ⑤ 実施・施行

(5) その他注意すべき用語の使い分け

- ① 賠償・補償・弁償
- ② 精算・清算
- ③ 体制・態勢
- ④ 違約金・損害金
- ⑤ 取消し・無効・不成立
- ⑥ 価格・価額
- ⑦ 弁済・履行・給付

* 扱う用語については、最新の社会情勢等も反映する意味から、若干の変更もあり得ます。

【講師略歴】一橋大学大学院博士後期課程修了、博士（経営法）。昭和55年新日本製鐵(株)（現、新日鐵住金(株)）入社。平成22年獨協大学法科大学院教授。平成29年より現職。専門は、商法・会社法、金融商品取引法、企業法務。法理論と実務双方からアプローチをした実践的でわかりやすい講義は定評がある。

【主著】『株主代表訴訟の理論と制度改正の課題』（2008年、同文館）、『契約用語使い分け辞典』（共編著 2011年、新日本法規）、『グループ会社リスク管理の法務（第2版）』（2015年、中央経済社）、『新版・会社法実務スケジュール』（共編著 2016年、新日本法規）他多数。

※録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

■主催 経営調査研究会
■後援 金融財務研究会
http://www.kinyu.co.jp

Facebook : <http://www.facebook.com/keichoken>
Twitter : <https://twitter.com/#!/keichoken>
Blog : <http://keichoken.blogspot.com/>



開催日

平成29年4月25日(火)
13:00 ~ 16:00

会場

茅場町・グリーンヒルビル
金融財務研究会本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8
TEL 03-5651-2030
地下鉄東西線・日比谷線 茅場町駅
6番出口より徒歩1分
(開場は開演の30分前です。)

参加費

1名につき34,800円
(消費税、参考資料を含む)
1社2名以上同時に参加お申込みいた
だいた場合、お2人目から1名につき29,000円。追加申込みの場合は、
その旨ご記入下さい。

申込先

経営調査研究会 ホームページ <http://www.kinyu.co.jp/>
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8 グリーンヒルビル
TEL 03-5651-2033 FAX 03-5695-8005

申込方法

ファックス又は郵便にて参加申込書をお送り下さい。上記ホームページの申込欄から
もお申込みいただけます。折り返し、受講証と請求書を郵送致します。参加費は下
記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。(但し経理の都合等で間に
合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。)参加費の払戻しは致し
ませんので申し込まれた方がご都合の悪い時は代理の方がご出席下さい。又当日ご
参加になれなかった場合、当社および金融財務研究会主催の他のセミナーに無料で
ご出席いただけます。(但し新しいセミナーの参加費との差額が2,000円以上の時
は差額をお支払いいただきます。また、振替は1年以内にお問い合わせいたします。)
ご記入いただきました個人情報、当社および関係会社の受講者名簿の整備や今後開催される
セミナーのご案内等に使用します。

振込口座

普通預金 口座名 (株)経営調査研究会

三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 0602180 三井住友銀行 東京中央支店 3207281
みずほ銀行 京橋支店 1813877 三菱UFJ信託銀行 日本橋支店 1979947

----- 切らずにこのままお送り下さい -----

企業実務家が理解しておくべき
法律実務用語の使い分け

4 / 25

◆ 参加申込書 ◆

FAX 03-5695-8005

平成29年 月 日

ご連絡・講師へのご質問等ご記入下さい	会社名	TEL FAX	
	所在地	E-Mail 〒	
	参加者ご氏名	部課名	
	〃	〃	
	〃	〃	
	〃	〃	
	書類送付先 (同上の場合記入不要)	ご担当者 TEL	部課名 FAX

*セミナーコード 0783 (Law-290783)

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。